

jus 日本UNIXユーザ会Presents

闘う男 法林浩之氏が送る  
平成生まれのための  
**UNIX&IT歴史講座**

～1990年代前半編～

#UNIX歴史講座 #HashHub #ChainTope

本日の資料は  
こちらで公開します

<https://www.slideshare.net/hourin/>

もしくは  
「slideshare 法林」で検索



法林 浩之



@hourin

- 日本UNIXユーザ会 幹事 (元会長)
- さまざまなコミュニティとイベントを開催
- 全国各地のイベントで研究会を開催
- フリーランスエンジニア
- 最近はさくらインターネットの仕事が多い
- TechLIONなど多彩なイベントを開催
- くわしくは「法林浩之」で検索

# 日本UNIXユーザ会 (jus)



[ホーム](#) [About jus](#) [入会/更新案内](#) [イベント情報](#) [運用研究会](#) [活動履歴](#) [会員ページ](#)

JAPAN UNIX SOCIETY SINCE  
1983

[ABOUT JUS](#)

1983年設立  
日本におけるUNIXや  
OSSコミュニティの草分け

**jus** JAPAN UNIX SOCIETY NEWS LETTER  
*/etc/wall*

1999 vol.4

jusの会報

主に活動報告を掲載

jus幹事が編集

設立当初から現在に至るまで継続

# 試合に至る経緯

- 昔の/etc/wallは紙媒体（現在はPDF）
- jus事務局に眠る古文書の電子化を推進中
- 作業中に/etc/wallが全巻発掘され電子化
- /etc/wallに書かれた活動記録を紹介することで、  
当時のUNIX業界やIT業界の状況を伝えたい
- 35年分を一度に紹介するのは無理なので、  
各回ごとに5年ぐらいの範囲を設けて紹介

# おことわり

- 今日の内容は当時のIT業界のごく一部
  - jusの活動記録から見た当時の状況説明
  - jusの活動範囲外の出来事は載っていない
  - 時間の関係で割愛する話題も多い
- NGワード
  - (俺の思い出の)あの出来事が載っていない
  - なつかしい

# 昭和生まれの皆さんへ

発表内容の補足情報を  
ハッシュタグを付けて  
投稿してください

#UNIX歴史講座  
#HashHub #ChainTope



今回の対象時期

1990年代前半

1990-1994年の

/etc/wallから紹介

UNIX Fair '91 報告

# Making of UNIX Fair '91

徳川義崇 坂本文

DIT YDC

1991年12月3日4日の2日間、東京・新宿NSビル地下イベントホールでUNIX Fair '91を、併設セミナーを新宿・京王プラザホテルで開催しました。出展社数68社、入場者数のべ28,000人、開催したセミナー数21(含むオープンシステム・セッション、基調講演、特別講演)など、6回の歴史のなかで最大規模のUNIX Fairとなりました。

# UNIX Fair

- 1980-90年代は各社でUNIXマシンを開発・販売
  - OSも各社ごとに存在
- 各社のUNIXマシン、周辺機器、関連ソフトウェアなどを一覧できる展示会がUNIX Fair
- 1986年から1995年まで開催
- 会場：初期は東京(NSビルなど)、後年はパシフィコ横浜
- 内容：各社による展示、ネットワーク接続実験、併設セミナー、情報交換パーティー(懇親会)
- 来場者数：最盛期で4万人超

## ネットワーク接続実験

UNIX Fair では毎年会場内にネットワークを敷設し、出展社に相互接続実験をおこなう環境を提供しています。1986 年に開催された第 1 回 UNIX Fair の会場には、Class C のアドレスを割り当てた長い Ethernet ケーブルが 1 本あっただけでした。それ以来ブリッジの導入や IP

- ネットワーク接続機能はUNIXマシンの大きな特長
- しかし各社ごとにOSが異なるので、異なるベンダー間で通信できるかどうかわからない
- UNIX Fairに機器を持ち寄って相互接続性を検証
- 今はInteropが検証の場 (1994年開始)

第 16 回

# UNIX シンポジウム報告

坂本 文

YDC

1990年11月15～16日の2日間、大阪 桜ノ宮のリバーサイドホテルで、第16回 **jus UNIX** シンポジウムが開催され、テクニカルセッション、併設展示会、情報交換パーティ、BOFなどがおこなわれました。展示会には、出版物の展示も含め23社からの出展がありました。ここではテクニカルセッションとその裏でおこなわれたBOFについて報告します。

# シンポジウム

- UNIXに関するカンファレンス
- jus創立時(1983年)から2001年まで、  
毎年2回開催(夏は東京、秋は大阪)
- 主な内容  
テクニカルセッション、併設展示会、  
情報交換パーティー(懇親会)、BOF

## セッション 2(NEWS)

司会：坂本 文 (YDC)

OSF、UI、USLP(UNIX Software Laboratories Pasific)

それぞれから、活動や製品に関するアナウンスがあった。

OSF からは最近リリースが始まった OSF/1 の内容、UI

からは、UI の組織構造、UI の役割、SVR4 Multi Pro-

cessing Plan の概要、USLP からは SVR4 ES と SVR4

EL がそれぞれ説明された。

- 毎回、UNIX業界団体からの報告セッションあり
- 当時のUNIXは最先端の商用OSとして市場を拡大
- UNIXの標準化をめぐる派閥抗争あり
- 抗争している間にWindowsやLinuxが台頭

# jus 関西 活動報告

高野 豊

松下電器産業 (株)

ひさびさの jus 関西活動報告です。昨年一時中断した「UNIX 研究会」も秋には再開でき、以来 4 回の研究会を開催してすっかり以前のペースに戻っています。最近の活動の場所は、/etc/wall の No.7 でお知らせしたように、(財)千里国際情報事業財団のご協力を得、下記の場所でおこなっています。開催日は原則として偶数月の水曜日 14



# 第1回 jus 東海研究会報告

吉田茂樹

東京大学

前号の/etc/wall で報告されているように、jus 関西研究会に次いで、jus 東海研究会が発足し、1991年9月10日に第1回の研究会が開催されました。ここでは、大盛況だったこの研究会について報告します。

関西と東海で研究会を定期開催  
関西は1984年、東海は1991年開始

# 第2回 jus 東海研究会報告

研究会参加者有志一同

11月12日(火)に第2回東海研究会が開催されました。参加者は84名。第1回の約半分になってしまいましたが、この程度の参加者数を継続していけるよう、関係者一同気持ちをあらたにはりきっています。さて、ここでは各セッションの報告をお届けしましょう。レポーターは、久松住子さん(豊橋技術科学大学)、金子勉さん(三菱自動車エンジニアリング)、加藤やえ子さん(アクシス)の皆さんです。

# セッション 1 — みんなが幸せになるために

## 2001 年のワークステーション像

発表者：電気通信大学 砂原秀樹氏

10年後の2001年までに何をしておきたいかという観点から、計算機利用環境に関わる歴史と、今後の技術動向の展望が発表されました。

1968年以前を有史以前、1969年にUNIXがベル研究所で誕生して以来2000年まで、2001年以後の3つに分けて、計算機利用環境/計算機の性能/処理するデータ/ネットワーク/入出力や印刷出力の変遷が、イメージを描いた絵を加えて解説されました。示されたイメージの絵は、次

また砂原氏は、将来の計算機像を次のように想像しておられるそうです。

- 楽屋裏に巨大なファイルサーバーが置かれ、高い計算能力とバージョンアップやメンテナンスのサービスを提供しており、その集合体はどの計算機を使っているかをユーザーに意識させない。
- 目的に応じて 1 人で数台のスーパーコンピュータや専用マシンを使い、その性能は CPU 数十 GIPS、数 GFLOPS、主記憶 数 Gbyte、ディスク 数百 Gbyte を専有できる。
- 処理速度が速ければすべてがすむわけではない。家のなかでは、家庭生活に必要な機器がホーム・ネットワークを構成する。個人はポケットに計算機を入れて持ち運び、ワイヤレス接続で画像入力、音声入力などの簡単なユーザーインターフェイスでネットワークや計算機を使うようになる。

# jus フリーソフトウェア配布 サービスについて

吉田茂樹

CSK

## 背景

/etc/wall No.10のアンケート集計結果を見ると、jusの活動として期待する項目として“フリーソフトウェアのテープ配布”がそのトップに挙がっています。一般にフリーソフトウェアはネットワークを通じて配布されたり、知

jus では以前から会員サービスの一環としてテープによるソフトウェアの配布をおこなってきました。これまでに、X Window System Version 11 Release 3 および Release 4、GNU Projects の各ソフトウェアを配布しました。しかし、UNIX 上で動作するフリーソフトウェアには、X Window System や GNU 以外にもさまざまなものがあります。

今回は会員の要望に対してより充実した形で応えるという意味から、多くの UNIX ユーザが愛用している、各種の UNIX 用フリーソフトウェアの配布をおこないます。

当時はインターネットが普及しておらず回線も細かった(末端は100kbps未満)のでオフラインでソフトウェアを配布していた

## X11R5 の配布状況

すでにお知らせしたように、X11R5 のテープまたは CD-ROM による配布を開始しています。CD-ROM による配布ははじめての試みであり、CD-ROM ドライブの普及率も把握できなかったもので、若干の不安を抱きながら発注しました。しかし、ドライブは私たちの予想より普及しているようで、この原稿を書いている 11 月 20 日現在、約 250 枚が配布されました。

当初は1/4インチテープで配布  
1991年からCD-ROMで配布  
DVDはまだ存在しない

## ソフトウェア配布サービスのお知らせ

日本 UNIX ユーザ会では、会員サービスの一環としてソフトウェアの配布をおこなっています。今年度は、「フリーソフトウェア '93」と題して、昨年配布した「フリーソフトウェア '92」をさらに便利に利用するための周辺フリーソフトウェア集を配布します。配布は CD-ROM でおこない、下記のソフトウェアを含みます。

- GNU Emacs lisp プログラム集 (GNU Emacs 上で動作する便利な Emacs Lisp プログラム集)



- T<sub>E</sub>X 周辺プログラム/ファイル集 (T<sub>E</sub>X3.X と スタイルファイル、フォント、プリンタドライバ、プレビューアなど)
- Perl スクリプト集 (Perl 言語で書かれた各種の便利なスクリプト集)
- 最新 GNU ソフトウェア一式 (GNU Emacs、gcc、bash、ghostscript、groff などの最新版)
- 最新 X11R5 用 contrib プログラム集 (X11R5 用の contrib プログラムの最新版)
- 最新 UNIX/MS-DOS フリーソフトウェア集 (UNIX 用、MS-DOS 用の各種プログラム集)
- Linux (80386/80486 パソコン用の UNIX に似たフリーな OS)

1993年に初めてLinuxを配布

# USENIX'89 Summer レポート

砂原 秀樹

電気通信大学

1989年夏の USENIX Technical Conference は、6月12日から16日まで、ワシントンの北にあるボルチモア市の **Baltimore Convention Center** で開催されました。はじめの2日間にチュートリアルが、後の3日間で Technical Conference と展示会がおこなわれました。

この頃の /etc/wall は  
海外カンファレンスのレポートが多い

# PortSoft

## 国際 ワークショップ

小暮博道 USLP

### 経緯

今年 (90年)2月頃、韓国のヒューマン・コンピュータ社 (HCI) のチュン博士 (Chul Chung) から一部の jus 幹事宛に、日本、韓国、中国などを中心にして、国際化されたアプリケーション・ソフトウェアを作るために必要な要件および情報の交換を目的としたワークショップを開催しませんか、という呼びかけがありました。以前から複数バイ

テーマは国際化や標準化など

USENIX/UniForum 報告

# ダラスの熱い、1週間

坂本文

YDC

さて、ダラスでは 1991 年 1 月の第 3 週目に UNIX に関連するイベントが 2 つおこなわれました。1 つは USENIX Association 主催のコンファレンス USENIX、そしてもう 1 つが UniForum 主催の UniForum です。ダラスには、

## Perlの本 etc.

会場のホテルでは、O'Reilly Associates がスイートルームを使った販売をおこなっていました。メインは、“Nutshell Handbook”の新刊、

- MH & xmh

- Perl

の販売で、本を買うと Perl や MH の T シャツがもらえるうえ、執筆者がその場でサインをしてくれます。こんなチャンスにめぐりあえるのも USENIX に参加する楽しみの 1 つです。Perl は、最近日本でもはやりつつあるテキスト処理用言語です。jus でも UNIX Fair '90 で Perl のセミナーを開きましたし、フリーソフトウェアのテープ配

Perlが最新のプログラミング言語  
PHP, Ruby, JavaScript, Pythonなどは  
まだ存在しないか、あっても普及していない

## 第 21 回 UNIX シンポジウム報告

7月28日～30日の3日間、東京港区のコクヨホールで、第21回UNIXシンポジウム(29～30日)と併設セミナー(28日)を開催しました。

併設展示会がおこなわれなかったせいか、やや静かな雰囲気でしたが、シンポジウム会場では250名の方が熱心に発表を聞いておられました。また、セミナーは2コースとも申込みが定員を上回り、参加をお断りしなければならない状態でした。以下、それぞれの様子を報告します。な

## 1993年の東京シンポジウム

パネルディスカッション

コーディネータ：宮川 晋 (東京工業大学)

● パーソナル UNIX — 386BSD、BSD/386、MACH、  
Linux、etc. :

パネリスト：徳川義崇 (ディアイティ)

古場正行 (日立ソフトウェアエンジニアリング)

谷口 崇 (電気通信大学)

米田真治 (大阪大学)

このパネルディスカッションでは、数多く存在する PC-UNIX から、すでに広く使われ、かつ本格的な利用に堪え、また個人が利用する際に便利なソースコード付きのものとして、386BSD、BSD/386、MACH、Linux を取り上げた。まずコーディネータから、386 以上の CPU

初めてPC-UNIXのセッションが組まれる

# PC-UNIXの発生

- 1980年代までのUNIXマシン
  - 専用のハードウェア、専用のOS
  - 基本的に複数人で共用
- 1990年代に入ってPCで動くUNIX系OSが登場
  - Linux, FreeBSD, NetBSDなど
  - PC-UNIXはこれらのOSの総称
  - macOSもこれの末裔
- PC-UNIXがもたらしたものの
  - UNIXマシンの低価格化
  - UNIXマシンが個人で使えるように



関西研究会の発表から

# UNIX 探偵団

## 調査依頼その 2

木津隆史 プロフェッショナル研究室柏原組

本稿は、1993年4月28日に開催された第49回 jus 関西研究会の第3セッションをまとめたものです。そのうち、前号 (/etc/wall Autumn 1993) では、“UNIX用語の読み方調査”を掲載しました。今回は、“格安 UNIX の構成”です。探偵は武藤武士氏 (神戸大学) です。調査は

## 調査依頼の手紙

私は root になって 1 年の新米です。これから UNIX 修行に励むために、自宅に UNIX マシンを置きたいと思います。最低限使える UNIX は、いくらぐらいで構成できるのでしょうか？ 貧乏人の私のために、ぜひ調査をお願いします。

## ワークステーション屋さんに聞いてみました

依頼者は 200,000 円ならば出せるということなので、200,000 円で構成できる UNIX システムについて調べま

名称	ベースシステム	価格 (単位:ドル)
386BSD 系 1. 386bsd 0.1 + patchkit 0.2.4 2. FreeBSD 1.0 Epsilon 3. NetBSD 0.9 4. 386bsd 0.2	NET/2	フリー フリー フリー CD-ROM で安く購入可能
Linux 0.99pl.9	SVR3.2	フリー
MINIX 1.5	V7	169
COHERENT 4.0	?	99.95

表 2: IBM PC 互換機用 UNIX

名称	ベースシステム	価格 (円)	備考
386BSD(98)	NET/2(PC 用 386BSD)	フリー	
MINIX	V7	14,800	
PANIX	SVR4	48,000	X11R5 が動くが Network kit は別売

表 3: PC-9801 用 UNIX

## 第 22 回 UNIX シンポジウム報告

11月4日(木)~5日(金)の2日間、大阪・千里中央の千里ライフサイエンスセンターで第22回 jus UNIX シンポジウムが開催されました。今回のプログラムは、通常おこなわれている論文発表のほかに、地域ネットワークや商用ネットワークをテーマにしたパネル・ディスカッション、製薬会社や新設大学における UNIX の導入事例紹介

## 1993年の大阪シンポジウム

## パネルディスカッション

司会：中野秀男（大阪大学）

- 地域ネットワークと商用ネットワーク：浅羽登志也 (IIJ)、松本敏文 (Spin)、北田義孝 (NORTH)、樋地正浩 (TiA)、榊原智之 (TRENDY)、西武 進 (CSI)、中山 仁 (KARRN)

2つの商用ネットワークと6つの地域ネットワークからパネラーを迎え、討論した。前半は、IIJとSpinの2つの商用ネットワークのパネラーが、それぞれ配布されたレジュメをもとに10分程度のプレゼンテーションをおこなった。これに対し、会場からは、健全な日本版

この頃から商用インターネットが始まる

# UNIX Fair'94 報告

菊地真哉、法林浩之、今泉貴史

1994年11月30日(水)~12月2日(金)の3日間、横浜・桜木町のパシフィコ横浜においてUNIX Fair'94を開催しました。不況のあおりか、出展社数は98社と前回を下回りましたが、来場者数は過去最高の42,377人でした。

## UNIX Fair '94 (1994年12月)

インターネット体験コーナーでは、Mosaic を使い、来場者にインターネットを体験してもらいました。このコーナーはたいへん人気が高く、皆がインターネットの可能性とそのなかで UNIX の占める重要性を認識してもらえたのではないかと思います。

- インターネット接続事業(ISP)が始まる
- World Wide Webという技術が出てくる
- Mosaic：当時最先端のブラウザ
  - 初めて文字と画像を同じウィンドウに表示した
- UNIX Fair会場をインターネットに接続し、MosaicでWebを体験してもらった
- 会場にもWebサーバを設置し外部に公開

## UNIX Fair '94 HomePage

11月22日（火）より、12月末日まで、UNIX Fair '94の情報をインターネット上で提供するWWWサーバを設置しました。

提供内容：  
○出展社・出展製品の紹介  
○セミナー案内  
○会場への交通案内  
○会場の様子・出来事（会期中）など

アクセス件数：合計40,267件（12月12日現在）



# UNIX Fair '94開催報告書より



# 勉強会報告

法林浩之、片山喜章

jus では、技術の普及や UNIX の基本知識の習得を目的に、今年度から“勉強会”を開催することになりました。第 1 回目は 8 月 24 日に東京の機械振興会館で、第 2 回目は 9 月 21 日に大阪の千里ライフサイエンスセンタービルで、いずれも 18 時～20 時の 2 時間を使って開催しました。“業務時間の終了後に開催すれば、たとえ仕事に関係

## jus勉強会の立ち上げ（1994年8月）

# jus勉強会

- それまでのIT業界のセミナー
  - 平日の日中に開催
  - 参加費は1万円以上が普通
- 業務と関係なく技術を学びたい → 勉強会を創設
- 業務外で行けるようにする工夫
  - 平日夜や休日に開催
  - 参加費の低減 (jus会員1000円 / 一般2000円)

# 勉強会開催のお知らせ

日本 UNIX ユーザ会 (jus) では、「勉強会」を開催します。これは、初心者を対象とした簡単なセミナーです。毎回、テーマや講師を変えながら、初心者がつまづき易いアプリケーション、ちょっと面白い UNIX 関連技術、知っているると便利なコマンド、中級者になるための一歩、など、さまざまな話題を取り上げます。

参加費は、会員 1,000 円、非会員 2,000 円です (会員の確認は会員証でおこないます。会員の方は、必ず持参してください)。参加費は、当日現金でお願いします。事前申し込みは不要です。当日、会場に直接おこしてください。なお、定員に達した場合は聴講をお断りすることもあります。あらかじめご了承ください。

..... 今後の予定 .....

## HTML いろはの ”い”

講師: 中島 亮彦 (日本電信電話)

会場地図:

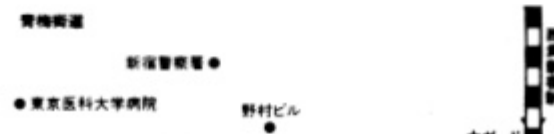
日時: 6月27日(火) 18:30 - 20:30

受け付け 18:10 -

会場: 住友スカイルーム (住友三角ビル 47階)

JR 新宿西口徒歩 8分

定員: 96名



開始から10年以上、毎月開催 (現在も年数回開催)  
おそらくIT業界初の試み  
現在のIT勉強会に至る流れを作った

# 1990年代前半のまとめ

- UNIXが現場で使われるOSとして定着
- UNIX標準化に関する主導権争いが発生
  - 結果的に全部Linuxに負ける(2000年代以降の話)
- インターネットへの接続需要の増大と、  
それに応じて商用インターネットのサービス開始
- PC-UNIXの黎明期
- jusの最盛期
  - 会員数もこの頃が最大(約2500人)
  - ITの最新情報を交換する場はjusが担っていた

皆さんに

お伝えしたいこと

今の流行技術も  
20年後には  
歴史講座の題材

今すぐこの時代の  
まとめを作る必要はない

でも今を記録に残すことは  
やっておいた方がいい

## セッション 2 日目 — 7 月 30 日 (金)

### 招待講演

司会：砂原秀樹 (電気通信大学)

- UNIX とインターネット：村井 純 (慶應義塾大学)

“利用者が作り出した” という点では双子ともいえる

UNIX とインターネットについて、歴史と最新の動向を交えながら、技術者がなすべきことについて述べた。

# 第21回UNIXシンポジウム 招待講演 (1993年7月)



の方法論である。現在、インターネットの標準を決める仕組みとして IAB (Internet Architecture Board)、IETF (Internet Engineering Task Force) などの組織が活動しているが、これらがうまく機能しているのは、UNIX から引き継がれた、“利用者が利用者のために新しい技術を作りあげる” という精神を守っているためではないかと思われる。

「力で技術を普及させるのではなく、魅力で技術を普及させたい」という言葉が印象的であった。

皆さんから魅力ある技術を  
発信してもらいたい

# 今後の予定

2/23(土) OSC東京  
1980年代編

その後も各地で開催予定

他の年代の資料も  
こちらで公開中

<https://www.slideshare.net/hourin/>

もしくは  
「slideshare 法林」で検索

ありがとうございました



つづきはパネルディスカッションで！